

令和6年度指定管理者適用施設 モニタリング評価調書

No. 36
ID 150901

【施設状況】

グループ名称	戸隠交流促進施設(交流促進センター)									
指定管理者名	宝光社区						法人番号	7700150020786		
所管課	主	150820	観光振興課 北部産業振興事務所	副						
構成施設	2095	戸隠交流促進施設(交流促進センター)								
施設分類	04	レクリエーション型		施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	02	利用料金制	
施設概要	交流促進センター(食堂、会議室)：平成8年3月設置、木造2階建て556.91㎡									
施設設置目的	都市住民等が滞在型農林業体験を通じて中山間地域に対する理解を深めることにより、都市と中山間地域の交流を促進し、地域の活性化と就業機会の拡大を図る。									
基本方針等	農村・観光地など地域の特性・資源を活用し、郷土料理等の提供及び地元農産物、地場産品等の販売を行う。 これら都市住民との交流促進活動を通じて、農家などの所得の向上・経営意欲の増進を図る。また、地域の各種行事等に施設を活用し、まちづくりに活かす。									
主な実施事業	・郷土料理等の提供及び農産物、地場産品等の販売 ・都市住民との交流促進 ・会議室使用の諸手続き									

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	宝光社区					当該指定管理者の 指定回数	5 回
指定期間	令和4年4月1日		～	令和9年3月31日	5年	当該指定管理者の 管理運営開始日	平成18年4月1日
指定 管理 者の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。						評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)						3

2 施設の有効活用

No. 36

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年比	3
	そばの里二番館	人	6,395	10,183	11,485	11,720	102%	
	(特記事項)							
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由			
	市指定事業	・長野市戸隠交流促進施設(二番館)の管理運営 その他、歴史等に関する資料等の展示、郷土料理の提供、 地場産品の販売、農林業体験に関することなど						
	自主事業	・イベント出店 ①「北アルプス山麓グランフوند」自転車ロードレースのエイド出店 ②地藏盆祭						
サービス維持・向上の取組み (広報等)								

3 利用者評価

		区分	内容	評価
利用者評価	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート	3
		(2) 調査、会議等の内容	・アンケート用紙をテーブルに置いて調査を実施した。123件 ・接客時及び会計時に、要望事項等があるか聞き取りをした。98件	
		(3) 調査、会議等の結果	・接客態度が非常によく、従業員の方々には、優しく接して頂いたと言葉をもらった。	
	利用者からの評価・苦情等	(1) 良好とする評価 聞き取り	・来店した理由 表の雰囲気良く、戸隠に合っていたから ・来店のきっかけ ネットの情報で行ってみたいと思った ・そば等の食事 そばの香りが強く、とても美味しかった	3
		(2) 苦情・改善等の要望事項	・なし	
		《対応措置》	大きな要望は、無かったが、引き続き、多くの利用者に来場していただけるようにサービス質の向上に取り組む	

4 事業収支

No. 36

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和6年度)				市の収支				評価		
		年度計画額		収支実績額			令和6年度決算			令和5年度決算(前年度)	
		項目	金額	項目	金額		項目	金額		項目	金額
	収入	利用料金 指定管理料 委託料 販売収入等 その他収入	6,500,000	利用料金 指定管理料 委託料 販売収入等 その他収入	6,003,696	歳入	使用料 雑(納付金) 行政財産目的外使用料 貸付料 その他			使用料 雑(納付金) 行政財産目的外使用料 貸付料 その他	
		計	6,500,000	計	6,003,696		計	0		計	0
支出	人件費 設備管理費 備品購入費 修繕費 光熱水費 事業費 事務経費 本社経費 その他	3,540,000 100,000 50,000 600,000 1,972,000 158,000	人件費 設備管理費 備品購入費 修繕費 光熱水費 事業費 事務経費 本社経費 その他	2,853,210 152,600 5,000 846,989 1,987,117 187,303	歳出	指定管理料 委託料 需用費 役務費 使用料・賃借料 修繕費 工事請負費 備品購入費 その他	58,000	指定管理料 委託料 需用費 役務費 使用料・賃借料 修繕費 工事請負費 備品購入費 その他	58,000		
	計	6,420,000	計	6,032,219		計	58,000	計	58,000		
自主事業	収入	35,000	収入								
	支出	31,000	支出								
	自主事業損益	4,000	自主事業損益	0							
損益	84,000		-28,523		差引	-58,000		-58,000			
人件費比率【人件費(賃金等)／令和6年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									47.3%		
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由											

5 管理運営全般 ※ すべて ☒ で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

管理運営全般	区分	確認内容	チェック欄	評価	
	職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	☒	3	
		配置実績 (うち市内雇用職員数)			施設長(非常勤)1名 従事者(常勤)2名 臨時雇用(非常勤)8名 計11名
		2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか			
		3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
		4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか			
	平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	☒		
		2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか			
	経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	☒		
		2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか			
	施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか	☒		
		2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか			
	セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	☒		
2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか					

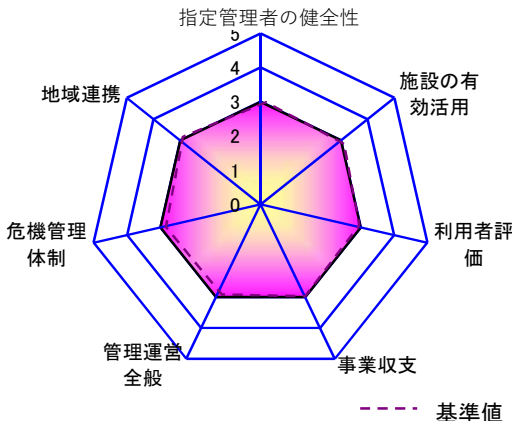
危機管理体制	区分	確認内容	チェック欄	評価
	安全対策	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☒	3
		2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
		3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☒	
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	☒	
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
	緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☒	
		2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		評価
	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	3
	・従事者全員が地元地区を中心に市内雇用 ・主材料、資材は地元業者と農家から購入 ・地域の民芸品、土産品、農産物を販売 ・地域各種団体の施設利用と地域行事への参加協力		

【総合評価】

【総合評価】

総合評価	評価項目	評価	得点	総合評価	
	指定管理者の健全性	3	6	合計得点	
	施設の有効活用	3	12		
	利用者評価	3	12	60	
	事業収支	3	12		
	管理運営全般	3	6		
	危機管理体制	3	6		
	地域連携	3	6		

評価理由

繁忙期(ゴールデンウィーク、お盆、紅葉時期)の営業に集中したところ、利用者数は前年度と比べて235人増、対前年比は102%増となり、施設の有効活用が図れている。

取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
	指定管理者であり地元区である宝光社と施設のあり方について、公共施設マネジメント及び個別施設計画に基づき協議を進め、施設の有効的な活用を目指す。	区に対して、今後の施設について説明会を実施。	

次年度の目標・
取組み等
(施設所管課)

引き続き、公共施設マネジメント及び個別施設計画に基づき、地元と施設の今後のあり方の協議を進める。

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ・施設の開館日は5月1日からとなっておりますが、ゴールデンウィークでの来客が見込めるため、4月25日から開店準備をはじめ、前倒しで営業を開始した。
- ・全国的にも知名度が高い「戸隠そば」を売るため、地元製粉業者及び地域の農産物を使用して提供した。
- ・地元農家・企業が生産した農作物や竹細工製品、干そば、菓子等のお土産品の販売をした。

② 業務の効率化に対する取組み

- ・従業員の雇用体制に余裕がないため、例年客数が減少する時期については、営業日の削減により光熱水費及び人件費の削減に努めた。

③ その他

(2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・施設従事者の高齢化により、後継者の育成が必要となっておりますが、季節雇用のため対象となる人員確保が困難な状況である。
- ・宝光区は、当該施設の活用法として、地域のコミュニティーの場として活用していく方向で検討が進んでいる。早期実現できるよう計画を立てる。

(3) 総合評価

評価基準

【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

- ・観光客の増加傾向が見られ販売収入増となった。
- ・営業日の縮小により光熱水費と人件費の削減が出来たため、黒字決算となった。

② 次年度以降の取組み

- ・新型コロナウイルス感染防止及び食中毒対策に注意を払いながら、サービスに努めたい。
- ・本年度の実績を踏まえた取り組み方で、経費の削減に努めながら、地域活性化を図るための施設としての活用方法を地元住民と協議していきたい。